



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2022年4月10日(日) 9:30~12:00(快晴)

参加者 一般:5名(こども1名)

指導員:4名

テーマ 花に集まる虫を見よう

桜(ソメイヨシノ)の花の時期はほぼ終わりましたが、暖かくなっている色々な花が咲きだしています。花に来る虫を中心に見て回りました。

川原で目立ったニホンタンポポの花にはセイヨウミツバチが来て、蜜や花粉を集めていました。捕まえてガラス容器に入れて体の色合いなどを観察しました。ニホンミツバチとの違いを後翅の翅脈で確認したかったのですが、じっとしてしてくれず、この点については資料を示して説明です。花に来るハチとハナアブは体色が黄色と黒の模様で似ているので、触角や複眼を比べようとしたのですが、意外にもハナアブがほとんどいなくて、捕獲できませんでした。

気温が上がってきたら、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウなどが飛び始め、ベニシジミやツバメシジミも出てきました。ヤマトシジミはいないかと、何頭か捕獲してみましたがツバメシジミばかりでした。大野極楽寺公園では、この時期ならではのツマキチョウが出現したので、捕獲して翅の裏のオレンジ色や墨を流したような裏面の模様をじっくりと鑑賞しました。

花もいろいろと見られましたが、今季は開花がやや遅いようで、去年は咲いていたホウチャクソウも今回は未だ蕾の状態でした。

前回オオタカが止まっていた辺りの樹の上にはオオタカが巣を作っているということで、多くの野鳥ファンが写真を撮りに来ていました。静かに見守って、オオタカが無事に営巣し、繁殖できることを期待したいと思います。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

鳥:ツグミ、ヒバリ、ホオジロ、シジュウカラ、エナガ、コゲラ、メジロ、ヒヨドリ、カワラヒワ、イカル、シメ、スズメ、ムクドリ、キジバト、トビ、オオタカ、アオサギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス(囀り)、キジ(声)

虫:ナミアゲハ、ルリタテハ、テングチョウ、クマバチ

花:オオジシバリ、ハルジオン、アカオニタビラコ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ヘビイチゴ、ヒメスミレ、スミレ、カキドオシ、キランソウ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、コハコベ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ハナイバナ、キュウリグサ、ヒメウス、ムラサキケマン、セントウソウ、ナガバオモダカ、アケビ、シナレンギョウ、ユキヤナギ、ミヤマウグイスカグラ、ベニバナトキワマンサク、トサミズキ、ヒュウガミズキ、ヤマブキ、ニガイチゴ、アオキ



(ツマキチョウをガラス容器に入れて観察中)



セイヨウミツバチ



橙色の模様のツバメシジミ



ツマキチョウの裏面の模様



オオタカの巣?